

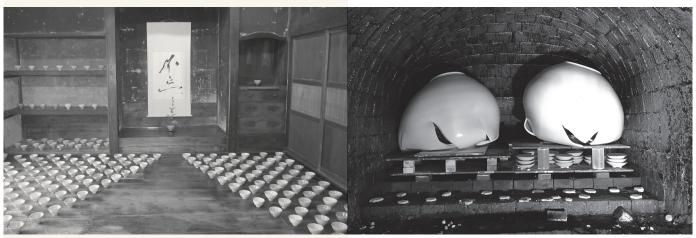


岡倉天心(覚三)が五浦に土地を求めたのは 1903(明治 36)年の 5 月頃のことでした。天心は五浦の地をいたく気に入り、2 年後には 六角堂を構え、ここを拠点としてボストン美術館勤務などの国際的な活躍をしました。1906(明治 39)年には日本美術院を五浦に移し、 各界の名士を招待して「仲秋観月会」を開催しました。「観月会 2021」はこの催しを偲んで開催するものです。

また、今年は東日本大震災から 10 年を迎えました。研究所のある北茨城市も甚大な被害を受け、研究所も大津波で六角堂が流出するなど被災をしました。節目の年を迎えた今年の観月会は大震災の追悼の意も込めたいと思います。

京都の染付磁器の伝統を継承しつつ、積極的に現代アートの世界で活躍する近藤高弘さんは、大震災直後より芸術活動の幅を拡大し、京都の他に東北にも制作拠点をおき、東北の土と登窯でつくった 2000 個の陶器を被災者に届ける「命のウツワ」の活動を行うとともに、黙祷する自身の姿をうつした坐像シリーズ《Reduction》をつくりあげました。研究所はこれらの作品を初めて見たときから、いつか復元された六角堂で坐像を展示したいと願っておりましたが、今回、その思いが実現しました。現在、坐像はボストン美術館やシアトル美術館、フランス国立ギメ東洋美術館など国外の美術館に収蔵展示されています。今回の特別展によって六角堂から海を望み、国境を越えた追悼の共鳴の輪を生み出したいと思います。

旧天心邸では、大地と水の生々流転をテーマにした近年の白磁大壺を展示するほか、「命のウツワ」のために制作した茶碗の一部を展示します。ご来場のほど、どうぞよろしくお願いします。



「命のウツワ」プロジェクト 2011

白磁大壷ーカタチサキー 2019

- ■近藤高弘 [Takahiro KONDO] ——陶芸・美術作家 1958 年京都市生まれ エディンバラ・カレッジ・オブ・アート修士課程修了、文化庁派遣芸術家在外研修員 1994 年:京都市芸術新人賞 2003 年:Inglis Allen Masters 賞 2020 年:京都美術文化賞
- ■主な展覧会・アートプロジェクト 1995 年: 個展「New Blue & White」スコットランド国立博物館(エディンバラ) 1997-2016 年:「火・土・水アースワーク」大峰天河神社護摩壇野焼き (奈良) 2002 年: 個展「Celestial Ceramics」バリーフリードマンギャラリー(ニューヨーク '04, '08, '10) 2005 年:「Contemporary Clay 一新世紀日本の陶芸一」ボストン美術館(ボストン)、ジャパンソサエティー(ニューヨーク '06) 2007 年: 個展「変容の刻ーMetamorphose ー」パラミタミュージアム、成羽美術館、京都芸術センター巡回 2011 年:「命のウツワプロジェクト」七ケ宿(宮城)、「HOTARU アートプロジェクト」オークニー(スコットランド)、比叡山根本中堂など 2016 年:「The Sculptural Turn」サンフランシスコ・アジア美術館(サンフランシスコ) 個展「生水一移ろい行くウツワー」瀬戸内市立美術館(岡山) 2017 年: 個展「一手の思想ー」何必館・京都現代美術館(京都) 2019 年:「アジア現代アート展」国立ギメ東洋美術館(パリ)「Kyoto: Capital of Artistic imagination」メトロポリタン美術館(ニューヨーク) 2020 年:「健在する日本の陶芸一不如意の先へー」益子陶芸美術館(栃木)



天心邸

交通のご案内 ■ JR ご利用の場合: JR 常磐線で大津港駅下車。市巡回バス(火・木・金曜日のみ運行)にて六角堂入り口下車。タクシーにて約10分。徒歩約45分。 ■お車ご利用の場合: 常磐自動車道北茨城 IC より国道 6 号線を大津港方面へ約15分。



会場

茨城大学五浦美術文化研究所

〒 319-1701 茨城県北茨城市大津町五浦 727-2 Tel.0293-46-0766

お問い合わせ

茨城大学研究・社会連携部社会連携課 〒310-8512 茨城県水戸市文京 2-1-1 Tel.029-228-8425

Email: 6kakudo@ml.ibaraki.ac.jp